

家庭で見守る 子供のネット・スマホ利用

子供のネットやスマホのトラブル相談は「こたエール」

都の調査によれば、ネット上のトラブルを受けて子供がとった対応で、最も多かったのは、「がまんした」でした

トラブルを受けての対応割合 (%)						
小学生の回答	がまんした	家族に相談した	学校・先生に相談した	警察に相談した	専門の相談窓口相談した	その他・無回答
	45.7	32.1	10.8	3.1	1.6	29.6

【令和4年東京都教育庁発行「令和3年度「児童・生徒のインターネット利用状況調査」調査報告書」から抜粋】

ネット上のトラブルは、「誤ってクリックしてしまった。」「個人情報を伝えてしまった。」など、本人の行動がトラブルの一因となっている場合もあり、**保護者や周囲の大人に相談しづらいことがあります。**

「こたエール」では、子供と一緒にトラブルの内容を整理して解決に向けた助言を行うとともに、必要に応じて、トラブルに遭ったことを保護者にも伝えるようながしています。

家庭で見守るとともに、子供には「こたエール」のこともぜひ教えてあげてください。

相談事例

タブレットで調べ物をしていたときにうっかり広告に触れてしまい、そのまま会員登録された上にお金も請求された。連絡して会員登録を解除したい。

※実際に寄せられた相談内容の一部を加筆修正するなど再構成しています。

相談は無料 秘密は守ります

電話相談

インターネットなやみゼロに

0120-1-78302

月～土曜日 15時～21時 ※祝日・年末年始を除く



メール相談

24時間 いつでも受付中!



保護者の方からの相談もOK

LINE相談

友だち登録、相談はこちら▶

ホームページには多くの相談事例を掲載しています [こたエール 検索](https://www.tokyohelpdesk.metro.tokyo.lg.jp/) <https://www.tokyohelpdesk.metro.tokyo.lg.jp/>



スマホを持たせたけど、何に気を付ければいいのか?

スマホを持たせるタイミングは?

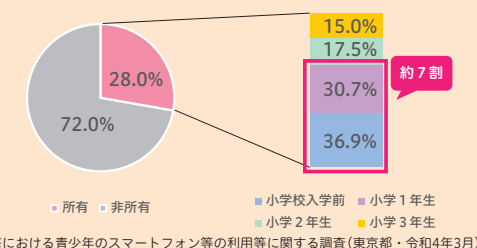
ゲーム機でもネットにつながるって本当?

子供が安全安心にネット・スマホを利用するためには、保護者自身が**ネット・スマホの利便性と危険性**をよく理解し、子供に伝えていくことがとても重要です。
ぜひこのリーフレットを活用しながら、**子供のネット・スマホ利用を見守っていきましょう。**

ネット・スマホ利用の低年齢化が進んでいます

都が小学校低学年の子供を持つ保護者に行った調査によれば、**約3割**の子供が低学年のうちで自分のスマホを所有しており、そのうち**約7割**は小学校1年生までにスマホを所有しています。
また、スマホを持たせていなくても、ゲーム機などからネットを利用している場合があるほか、学校では、文部科学省の掲げる「GIGA スクール構想」の実現に向け、生徒一人に1台のタブレット端末等の貸与が進められています。

● 子供に初めて専用のスマートフォンを所有させた時期 (小学校低学年の保護者を対象とした調査結果)



青少年のスマホ等の適正な利用のための「ファミリーール講座」

子供のネット・スマホ利用に伴うトラブル事例等を紹介する講義形式の講座や、トラブル事例について話し合ったり、家庭でのルール作りのポイントや親子のコミュニケーションを学ぶグループワーク形式の講座を実施しています。
グループ単位でのお申込みを受け付けております。ぜひ御参加ください。

〈対象〉小・中学校の保護者、地域のグループなど 〈時間〉1～2時間程度 (*調整可)
〈場所〉学校、公民館など
〈経費〉無料 (*講師の謝金、交通費も不要です。)
〈申込み・お問合せ〉ファミリーール事務局
(電話) 03-4531-9460
(メール) info@e-rule.jp
(URL) <https://www.e-rule.metro.tokyo.lg.jp/>



スマホはいつから持たせたらいいの?

子供がネット・スマホを安全に利用していくためには、スタートが肝心です。
使い方をしっかりと話し合っ、子供がネット・スマホを安全安心に利用できる環境を整えるとともに、スマホを渡した後も子供の様子を見守っていきましょう。



国の調査によれば、**インターネットを使い始めた時期が早い子供の方が、インターネット上の危険・脅威への対応能力 (リスク対応能力) が若干高い傾向**にある、との結果がでています。

他方、低年齢からスマホを利用している子供の方が**フィルタリングを利用していない場合が多い**との結果も併せて提示されています。【以上、総務省「青少年のインターネット・リテラシー指標等に係る調査」】

また、犯罪被害に係る統計によれば、SNSを通じて犯罪被害に遭った子供の**85%以上が、被害時にフィルタリング設定をしていなかった**、とのデータもあります。【警察庁統計】





東京都がお勧めする子供を守る2つの『柱』

安全安心を推進する
マスコットキャラクター
みまもりいぬ



子供がネット・スマホを正しく安全に利用するためには2つの『柱』が大切です。

1つ目は、子供が自らの意思で自分を律するように促す「教育」です。子供にネット・スマホの危険性を理解させ、家庭での2つ目は、機器やアプリなどを利用して外側からコントロールする「機能の活用」です。フィルタリングやペアレンタルコン

ルールを定めて、必要性和責任を自覚させることが大切です。日頃から親子のコミュニケーションを大切にしましょう。トロールなどの機能を活用することで、子供をネット上の違法・有害情報やトラブル、長時間利用から守りましょう。

教育のポイント

子供にスマホを持たせる場合のポイント

スマホを持たせる前に、保護者と一緒にネット利用を練習しましょう

- 一緒に様々なサイトを見ながら、楽しい面だけでなく危険な面もあることを理解させる。
- 文字による会話の伝え方やマナー等について理解させる。
- スマホが、いま本当に必要か、どのように使うかを話し合う。



スマホを持たせる際はルールを設けましょう

- 通話のみ、保護者とのメール利用のみ、といったルールを設ける。
 - 利用する時間帯、1日の利用時間、使っていい場所等を約束させる。
- ※スマホを持たせる前に、ルールを作っておくことが大切です。



子供の『力』を確認しましょう

- 日頃からコミュニケーションを大切に、利用状況を確認する。
- 子供の発達段階に合わせた使い方を親子で話し合う。

ルール作りの3つのポイント

①「小さく」「具体的」で守りやすいルールにする

(例) 午後〇時以降は、スマホを保護者に渡します。

② 子供自身にルールを「宣言」してもらう

保護者が一方的に押し付けるのではなく、子供が納得できる理由を示し、家族みんなでルールを守る意識が必要です。

③ ルールを二重構造にしておく

決めたルールを守れなかった場合のルール（メタルール）も、同時に決めておきます。
(例) 守れなかったら、1週間スマホを保護者に預かってもらい、その間は使いません。

決めたルールは「紙に書いて、目のつくところに貼っておく」のも効果的です。
また、作ったルールが守られているかな？としっかりと見守り、声掛けをしてください。



その他、気を付けたいポイント

- 大人の使っていた端末を子供に使わせることで、青少年には有害な情報が表示されてしまったり、ログイン情報等の履歴が端末に残っていて、課金が出てしまうなどのトラブルも起こっています。
- Twitter、Facebook、Instagram、TikTokといったSNSには利用規約で年齢制限（13歳以上）が設けられているものの、これを知らなかった保護者は約4割おり、小学生の約1割はこれらのSNSを使用していました。
(令和3年度「家庭における青少年のスマートフォン等の利用等に関する調査」より)
- YouTubeを13歳未満の子供が視聴するためには保護者が子供のアカウントを作る必要があります。

子供を守る機能の活用

子供の使用する端末にフィルタリングを設定することは保護者の責務です

フィルタリングは、子供をネット上の違法・有害情報との接触から守る手助けをする機能です。また、スマホやゲーム機などには様々なペアレンタルコントロールの機能が備わっている場合もあります。子供が利用するスマホや、サイト・アプリなどに応じて必要な設定を行うとともに、なぜそのような機能が必要なのか話し合しましょう。

(フィルタリングは、ペアレンタルコントロール機能の1つです。)

※子供（18歳未満）が使用するスマホを購入する際、販売店等は保護者等に対して、フィルタリングサービスを提供すること、またその内容を説明することが義務付けられています。

ペアレンタルコントロールの機能例

ゲームソフトの購入

無断でクレジットカード等でゲームソフトを購入することを制限できる。

利用時間

利用する時間や時間帯を制限できる。

他のユーザーとのコミュニケーション

他のユーザーとのメッセージの交換等を制限できる。

ウェブサイトの閲覧

有害なウェブサイトに接続しないように制限を加えることができる。

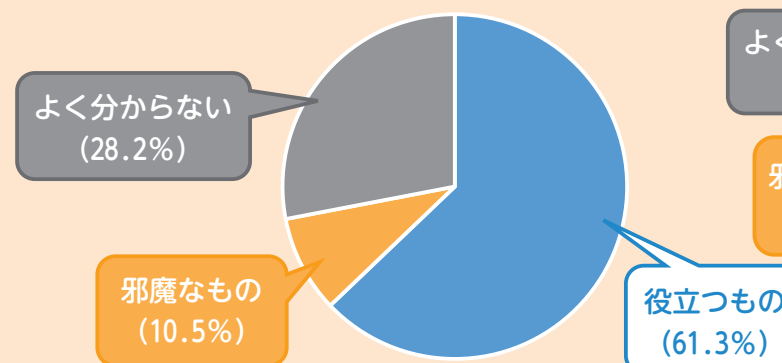
詳細は一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会のホームページ(「啓発の取り組み」→「保護者の皆様へ」)へ

子供たちはフィルタリング・ペアレンタルコントロールをどう感じている？

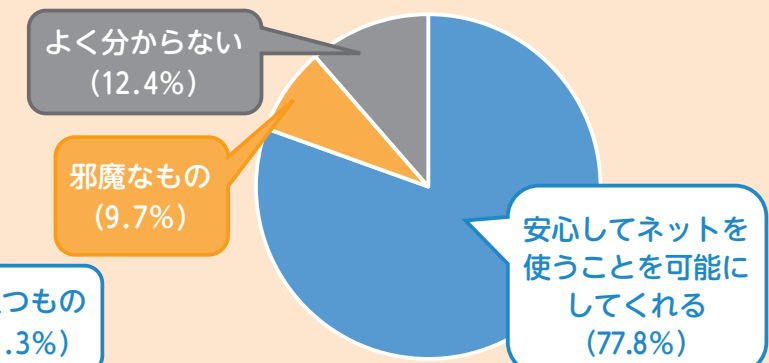
国が高校1年生を対象に行った調査によれば、多くの高校生はフィルタリングやペアレンタルコントロールによる利用制限を肯定的に捉えています。

子供が安全安心な環境の中でネットを利用できるよう、子供を守る機能を活用しましょう。

ペアレンタルコントロールは…



フィルタリング機能は…



【総務省「青少年のインターネット・リテラシー指標等に係る調査」より】